

令和 6 年度事業報告書

1 全 般

法人及び施設運営において大きな問題となる事案、法令違反等に抵触する事項等は認められず概ね事業計画に沿った運営が図れました。しかしながらコロナ禍が始まって以来、皆無であったコロナ施設内感染が2度にわたり発生し、施設運営及び入所者の方々の生活に少なからぬ支障を及ぼしました。

2 法 人

(1) 組織運営

ア 運営

法人の運営は、特に問題等もなく概ね計画に沿って実施しました。なお理事会を3回及び定時評議員会を1回開催しました。

イ 評議員の選任

本年度は、6月に4年の任期が満了となることにより評議員選任・解任委員会を開催し再任6名、新任1名が選任されました。

ウ 監査等

(ア) 松江市長の実施する社会福祉法人指導監査が8月に、また施設運営指導が11月に実施されました。それぞれ法人、施設運営上、大きな問題等となる指摘等はありませんでした。

(イ) 法人監事及び内部監査人による監査が計画にもとづき実施されました。

(2) 収支状況等

予算において当期資金収支差額は、施設内空調室外機のオーバーホール(7,150千円)を計画したこと等により6,524千円の支出超過としておりましたが、執行の結果、21,436千円の支出超過となりました。

ア 収入

予算収入215,866千円(補正後)に対して執行収入207,347千円となり8,519千円の減となりました。この主因は入所者数の減、入院者の入院期間延長化傾向等により主たる収入源である介護報酬収入が減となったことによるものです。

イ 支出

事業活動支出は予算215,932千円(補正後)に対して執行224,225千円となり8,293千円の増加となりました。これは人件費(法定福利含め)の増加、給食費、光熱費等を含め多数の支出科目で支出額が諸物価高騰等の影響により増加、修繕費の老朽化等による設備、物品の更新、修繕による増加、保健衛生費等が2度のコロナ施設内感染発生の際の対応物資等の緊急購入で増加したことによるものです。なお予算で計上していましたエアコン室外機のオーバーホール(7,150千円)は、計画どおりに実施しました。

施設整備等による支出は予算6,108千円(補正後)に対して執行5,608千円で厨房器材、車両等の更新等について概ね計画に沿った支出を行いました。

ウ 補正

次の補正を行っております。

(ア) 10月にその他の事業収入1,098千円の増、事務費支出(土地賃借料)1,876千円の減及び器具・備品取得支出2,248千円の増。

(イ) 3月に人件費(職員賞与)950千円の増、事務費支出(修繕費)450千円の増、事業費支出(車両費)250千円の増。

(3) 人事・給与等

ア 本年度の採用は介護職員2名、宿直管理員1名で退職は介護職員3名、宿直管理員1名でした。

イ 職員の処遇改善として、前年度同様に介護職員等処遇改善加算として国から示達された約19,000千円を使用して基本給の増額、手当支給等での処遇改善を図りました。

ウ 年度中、職員3名(うち男性職員1名)が育児休業を取得しております。

(4) 諸情報等の開示

5年度にかかる法人現況、財務諸表等を電子開示システム及び法人ホームページで開示を行いました。

(5) 社会福祉充実計画

計画8ヶ年目の本年度は、約28,493千円を使用し「職員の給与等改善」、「利用料の減免」等を行いました。なお7月には法人一時金を支給しております。

(6) 災害等対策

ア 台風、積雪等による災害等の発生はありませんでした。なお積雪が予想された際には、その都度、被害等発生時の対応のため延べ11名の職員を夜間、施設での待機としました。

イ 職員分備蓄食糧として3日分を購入した他、松江市からレトルト食品、飲料水2日分の配分を受けました。

(7) 補助・助成等

次の補助等を受けました。

- ・ 島根県LPガス協会より価格高騰支援補助金 47千円
- ・ 中央競馬馬主社会福祉財団より施設車両更新助成 1,050千円

3 施設

(1) 利用状況等

特養の利用状況については、最近の入所申し込み者減少状況の中で、退所者の時期集中及び2度のコロナ施設内感染の影響により、充足が捗らず前年度を下回る利用率となりました。短期入所については概ね前年度並の利用となりました。

ア 特養(定員:50名)

(ア) 新規入所者は24名(5年度19名)、退所者は17名(5年度24名)で退所者のうち11名が4~8月の間でした。

(イ) 年度利用率は、88.8%(5年度93.1%)の結果となりました。4~9月が平均

82.7%(41.8人)、10月以降が平均94.4%(48.8人)の状況でした。また入院者は実入院者59名 延べ893名でした。

(ウ)入所者のうち要介護度4及び5は入所者総数の約87%となっており、平均介護度は4.4、平均年齢88.1歳、90歳以上は全体の46%でした。

(エ)入所者の地区別入所率は、境港市からの入所者が全体の約50%を占める状況となっております。

イ 短期入所(定員5名/日)

年度利用率は31.4%(5年度32.2%)、平均介護度2.2で概ね例年同様の状況でした。また利用者居住区域は、すべて美保関町内でした。

(2)苦情、虐待等及び事故報告

ア 苦情、虐待はありませんでした。

イ 行政への事故報告として利用者に係る内容4件(骨折入院2、コロナ施設内感染2)を松江市に報告しております。

(3)コロナ感染

コロナ禍が生じてから約4年間、この間、職員の散発的感染者の発生はありましたが、各種予防対策の徹底を行い施設内感染はありませんでしたが、4月及び8月に施設内クラスターが発生しました。発生に際しては、感染拡大防止及び利用者に対する出来得る限りの各種サービス提供を最優先とし対応を図りました。

4月 対応期間 22日間 感染者 利用者17人 職員11人

8月 対応期間 17日間 感染者 利用者11人 職員2人

(4)行事等

コロナ感染防止対策のため、昨年度までと同様に夏まつりを含め諸行事の大半を中止しましたが、一昨年より再開しました彼岸供養及び地元中学生の体験学習の受入れを行いました。また12月には施設開設25周年行事として理事長講話を行いました。

(5)職員研修等

ア 職員の知識及び資質向上を図るため、施設外研修として実地受講及びオンライン利用により7件に13名の職員を参加させました。また施設内研修として虐待防止、事故防止等及び施設外研修内容の周知等について概ね2ヶ月に1回、集合研修会を実施した他、協力歯科医師による口腔ケアの実地研修を実施しました。

イ 介護職リーダー等(副主任、統括正副リーダー)による業務実施の意見交換、情報の共有等を図るため概ね毎月実施しました。

(6)地域交流

コロナ感染防止対策のため、昨年度同様に地元との諸交流あるいはボランティアの施設訪問による演芸等は全て中止しました。

(7)その他

毎月1回、松江市介護保険課の計画により同課課員1名が介護相談員として来訪し、入所者からの相談聞き取り、施設側との意見交換等を実施しました。